

# 身延山学園 身延山高等学校 手話コミュニケーション部

高校生ボランティア・アワード2024

「手話が当たり前の世界を目指して」  
～ろう者と聴者の繋がり合える世界を～

## 主な活動概要

- (1) 地域の小・中学校での  
手話教室開催
- (2) 障害者サッカー大会への  
ボランティア参加
- (3) 高校生ボランティアアワード出場
- (4) 地域のイベントでの手話発表
- (5) 山梨県高等学校芸術文化祭  
グラウンドステージでの手話発表



「知ってください当たり前の言語を  
『手話』を」

私たちは、手話を身近にある当たり前  
の言語の1つであるということを知っ  
てもらい、ろう者と聴者の繋がり合える  
世界の実現を目指して活動していま  
す。

手話というと何か特別視してしまうこ  
とがある人もいるかもしれませんが。私  
たちは、手話を楽しく学べる空間作り  
をしながら、皆さんに身近な言語とし  
て知ってもらえるよう工夫し、日々の  
活動を行っています。これからも、より  
多くの人に手話という言語を伝えてい  
けるよう頑張っていきたいです。

## 「手話を通じた人との縁、喜びは宝物」

### 手話教室後の感想

#### 生徒

・テレビを見て、前は耳の聞こえない人はかわ  
いそうだと思っていました。でも、ろう学校の  
校舎内には席の位置の工夫や階段の鏡にも工夫  
がされていて、すごく良いなと思いました。  
また、手話は障がい者と話す時だけ使うと思っ  
ていたけれど、遠くから話したりするときでも  
使えていたから面白かったです。

#### 先生

・手話について学べる良い機会となりました。  
生徒たちも手話を楽しそうに学んでいてとても  
良い時間となりました。

### 手話と出会って成長できたこと

☆ろう者の助けになりたい、そんな思いを持って手話部に入部  
しました。手話という新たな言語を学ぶ中で、確かに難しさはある  
けれども、同時に自分自身の成長も感じています。

基礎的な単語や日常会話など、少しずつですができるよう  
なっていくことが、これからのモチベーションになっています。まだ  
完全に覚えられているわけではないけれど、手話部に入り「私た  
ちがろう者の助けとなれるようになりたい」、その思いがより強まり  
ました。

(1年・前田沙和)

☆私は、今まで人前に立って話すことが苦手でした。でも、手話  
部に入って先輩や地域の方々との関わりを経て、人前に立つこと  
に自信が持てました。ろう者の方々とは、手話でしかコミュニケー  
ションをとれないかもしれないと最初は思っていたのですが、ジェ  
スチャーや筆談などでもお話ができることを知り、今ではろう者の  
方ともっとお話をしてみたいと思っています。

(3年・飯野未寿稀)

## 今年の目標は!!!

### 1、今年の目標

- (1) 手話検定全員合格!!
- (2) 卒業中学校での手話パフォーマンス&手話教室を実現させる!!
- (3) ろう者とのコミュニケーションを増やす!!
- (4) 災害時にろう者の手助けをするために何ができるかを学ぶ!!
- (5) ろう学校との交流を増やす!!

### 2、新たな企画として

- (1) SNSを使って身延山や高校、手話部の活動を広める!!
- (2) ろう者と聴者ををつなぐデフサッカー教室の開催!!



### 手話部活動プロフィール

平成15年設立。現在、男子3名女子13  
名で活動。私たちのモットーは、「みんな  
で楽しく手話を学び、みんなに楽しく手話  
を学んでもらう」です！手話をたくさん覚  
えるのは大変だけれど、小・中学生が楽し  
そうに手話をしているのを見て、喜びや元  
気をもらっています。これからも様々な活  
動を積極的に行い、継続させていきます。